

山田太郎の プロフィール



学 歴

- ・麻布高等学校卒
- ・慶應義塾大学経済学部経済学科卒
- ・早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係学専攻
博士後期課程単位取得満期退学

政治歴

- ・参議院予算委員会、決算委員会、内閣委員会オブザーバー理事など
- ・自由民主党参議院比例区第50支部

職 歴

- ・ネクステック社(製造業専門コンサルティング会社) 創業社長
(設立3年半で東証マザーズ上場)
- ・アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア)
- ・プライスウォーターハウスクンサルタント(現日本IBM)
- ・PTC(米ナスダック市場上場企業)米国本社副社長など

教育歴

- ・東京工業大学特任教授
- ・早稲田大学大学院商学系研究科客員准教授
- ・東京大学大学院工学系研究科非常勤講師
- ・早稲田大学理工学部非常勤講師など15年間ゼミや講義を担当

著 作

- ・「表現の自由の守り方」、「ネットには神様がいる」など12作の著作あり

表現の自由を巡る山田太郎の戦い! 山田太郎を応援してください

私は2010年の参院選に立候補したときから、表現の自由を守ることにについては、重要な公約として掲げてきました。国会質問の機会や質問主意書などを駆使し、そして、皆さんからの後押しの声もあり、政府や与党を動かし、何度もの危機を乗り越えることができました。表現の自由を守る闘いはまだまだ続きます。憲法21条の表現の自由を守り、著作権法では文化促進の観点からも権利者を守りながらパロディを合法化を目指します。アニメーターの待遇改善も行わなければなりません。これからも頑張っていきたいと考えていますのでよろしくお願ひいたします。



マンガやアニメ、ゲームを守れ!! 山田太郎の「表現の自由を守る」闘い



著作権非親告罪化 児ポ法 青健法
 有害図書指定 国連勧告 ダウンロード違法化 など
 余談を許さない表現の自由についての諸問題!!
 国政でもまだまだ表現の自由を守るための活動が必要!!

参議院比例代表では
個人名
 を
 ご記入ください

※比例代表の用紙は**2枚目**
 (白地に赤字の投票用紙)



※党名を書いても個人の票にはなりません
 ※全国どなたでも投票できます

〈事務所〉 山田太郎事務所
 〈連絡先〉 〒141-0021
 東京都品川区上大崎2-15-19
 MG目黒駅前ビル2階 山田太郎事務所
 ☎03-4405-1761 ✉info@taroyamada.jp

マンガ
 アニメ
 ラノベ
 フィギア
 ゲーム
 コスプレ
 同人誌

山田太郎

表現の自由を守る戦いは
1度たりとも
 負ける訳にはいかない!!

表現の自由を守るろう



前参議院議員

比例代表は
 全国どなたでも投票できます
 (全国比例)



LINE@登録
 お願いします!

このピラを見たら写真を撮ってツイートしてね!

前参議院議員就任前の山田太郎

経営者時代 会社創設・東証マザーズ上場



社長室にて



創業社長として会社を上場



当時は一般に知られていなかったPLMという概念を日本に持ち込み、製造業のコンサルティング会社をマザーズに上場させました。設計製造ソリューション展での山田節は展示会の毎回の名物となりました

教育者時代 東大、東工大、早大で

東大工学部で大学3年生を対象に「技術経営」や「アントレプレナー論」の選択必須のゼミを担当。早稲田MBAスクール客員准教授・東大院社会理工学科・特任教授（留学生に英語での授業を担当）北京航空航天大学（中国北京市）名誉教授など、教えた生徒は15年間で2000人以上

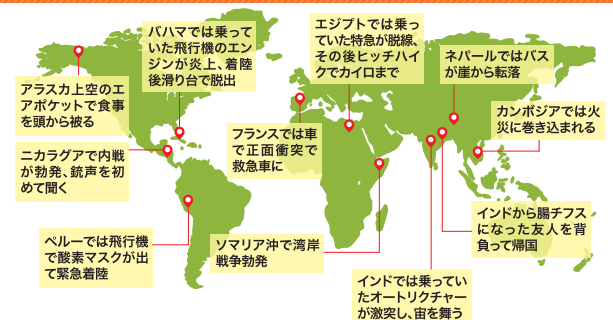


授業風景



清華大学MBAコース現役講師

学生時代～ 地球3周、世界50カ国



児童ポルノ禁止法では当初マンガやアニメ・ゲームについての規制がなされようとしていました。山田太郎はこの付則について、国会内や世論に働きかけ付則を外すことに成功しました。さらに、実在の児童を守るという法の趣旨を踏まえて運用する旨の附帯決議をつけました。

警察の行きすぎた捜査に歯止め

CG児童ポルノ事件、児童ポルノ法の単純所持、児童ポルノとは関係のないフィギアの押収・公開など重要な事件の度に状況を警察に確認し、皆さんに公表しています。以後、同様事件の歯止めになっています。



表現規制といつてもセツトになっているのが、実際の青少年保護と被害児童の保護です。ところが現在の行政は縦割りであり6府省が押し付け合いながら仕事をしている状態でした。菅官房長官に何度もしつこく働きかけ、総合調整機能をもつ部署の設置にこぎ着けました。

実在の児童を守るために 児童の養護に奔走



国連からのマンガ・アニメ・ゲーム規制勧告をはねのけた

国連特別報告者のブキッキオ氏の女子生徒13%援交発言に対応するべくいち早く外務省を動かしました。マンガ・アニメ・ゲーム規制についても、質問主意書や国会答弁などで、総理なども巻き込んで、日本として根拠のないものは受入れないという政府の姿勢を明確に正しました。

山田太郎の主な実績

軽減税率を理由にした 有害図書指定を不可能に

軽減税率導入時に「有害図書」指定をしようという議論が上がった際、いち早くそれが憲法上・法律上極めて難しいことを国会で指摘し、事実上実施できないよう道筋をつけました。これが通れば、今まで青少年向けに“不健全”であったものが、全年齢にとって“有害”であると書籍が指定されるところでした。



TPPの非親告罪化から コミケ、二次創作、同人誌を守る

当初、TPPの著作権非親告罪化によるコミケへの影響は深刻でした。非親告罪化による二次創作、同人誌への影響などを国会内で訴え、最終的に法律として提出されるまで、MANGA議連や国会質疑の場を活用しながら、影響が及ばないようにしました。

通信の秘密とインターネットは 基本的人権と訴える

憲法21条が定める通信の秘密にメールが含まれることを戦後初めて確認しました。その他にも日本でのネット検閲を内閣府が検討していることを問題だと指摘しました。そして、警察が第三者に命令し、携帯電話のロック解除をさせられないことを国会で明確にしました。

Twitterや毎週の「さんちゃんねる」・夏冬のコミケ演説での情報発信や皆さんとの意見交換を積極的に行っていました。青健法についての情報提供や見本法の質疑には皆さんから多くの意見が大量参考になりました。



放送350回以上!

毎週水曜日22:00~放送中
「山田太郎のさんちゃんねる」
<http://taroyamada.jp/yt>



皆さんのネットを駆使した 双方方向の意見交換